

中宮浄水場更新基本構想・基本設計  
業務事業者選定に係る公募型プロポーザル

審査結果報告書

平成 27 年 4 月

中宮浄水場更新基本構想・基本設計プロポーザル方式  
による委託業務事業者選定審査会

平成 27 年 4 月 17 日

中宮浄水場更新基本構想・基本設計プロポーザル方式による委託業務事業者選定審査会  
会長 中室 克彦

中宮浄水場更新基本構想・基本設計業務事業者選定に係る公募型プロポーザルについて、次のとおり審査結果を報告します。

## 1. 審査結果

中宮浄水場更新基本構想・基本設計プロポーザル方式による委託業務事業者選定審査会（以下、「審査会」という。）は、二次にわたる審査を厳正かつ公正に行った結果、次の者を最優秀提案者に選定しました。

最優秀提案者：（株）日水コン大阪支所（提案書番号 1）

### <第 1 次審査結果>

受付番号		1	2	3	4
企業の概要及び財務状況		10.0	6.0	8.0	8.0
受託実績	設計業務	5.0	4.0	3.3	3.0
	官民連携手法導入可能性調査	5.0	3.0	4.7	4.7
業務遂行体制	配置人員	8.0	6.0	9.2	5.8
	体制	7.0	5.4	5.4	3.8
合計点（40 点満点）		35.0	24.4	30.6	25.3
順位		1	4	2	3

### <第 2 次審査結果>

提案書番号	1	2	3	4
技術提案の評価	71.3	36.0	63.7	51.3
第 1 次審査の評価※ <sup>1</sup>	17.5	12.2	15.3	12.7
価格提案	4.5	5.0	4.6	4.4
合計点（100 点満点）	93.3	53.2	83.6	68.4
順位	1	4	2	3

※評価点は、審査委員の平均点で算出しています。

※<sup>1</sup>：第 1 次審査結果をプロポーザル実施要領で定める算定式により算出しています。

## 2. 中宮浄水場更新基本構想・基本設計プロポーザル方式による委託業務事業者選定審査会

	氏名	所属等
会長	中室 克彦	摂南大学 名誉教授
副会長	堀 真佐司	大阪広域水道企業団 副理事
委員	寺嶋 勝彦	元大阪市水道局 技術監
委員	宮内 潔	日本水道協会大阪支所 支所長
委員	村上 俊英	税理士

## 3. 最優秀提案者選定までの経過

日程	内容
平成 26 年 10 月 23 日 (木)	第 1 回審査会
平成 26 年 11 月 28 日 (金)	第 2 回審査会 (実施要領等の決定)
平成 26 年 12 月 18 日 (木)	実施要領等の公表 (市ホームページに掲載)
平成 26 年 12 月 18 日 (木) ～平成 27 年 1 月 13 日 (火)	参加表明書類の受付
平成 26 年 12 月 18 日 (木) ～平成 26 年 12 月 25 日 (木)	参加表明に関する質問書の受付
平成 27 年 1 月 7 日 (水)	参加表明に関する質問書に対する回答の公表
平成 27 年 1 月 20 日 (火)	参加資格確認の結果通知
平成 27 年 1 月 20 日 (火) ～平成 27 年 2 月 10 日 (火)	第 1 次審査提出書類の受付
平成 27 年 1 月 20 日 (火) ～平成 27 年 1 月 27 日 (火)	第 1 次審査に関する質問書の受付
平成 27 年 2 月 3 日 (火)	第 1 次審査に関する質問書に対する回答の公表
平成 27 年 2 月 19 日 (木)	第 3 回審査会 (第 1 次審査の実施)
平成 27 年 2 月 20 日 (金)	第 1 次審査 (技術提案書提出者の選定) の結果通知
平成 27 年 2 月 20 日 (金) ～平成 27 年 3 月 31 日 (火)	第 2 次審査提出書類の受付
平成 27 年 2 月 20 日 (金) ～平成 27 年 3 月 4 日 (水)	第 2 次審査に関する質問書の受付
平成 27 年 3 月 13 日 (金)	第 2 次審査に関する質問書に対する回答の公表
平成 27 年 4 月 17 日 (金)	第 4 回審査会 (公開ヒアリング・第 2 次審査の実施)

※参加資格の確認は、枚方市が実施しています。

#### 4. 審査経過

(1) 第1回審査会

- 日時 平成26年10月23日(木)
- 場所 枚方市上下水道局 庁舎 3階 応接室
- 案件 ①審査会の会長及び副会長の選出について  
②審査会の公開・非公開について  
③プロポーザル実施要領(案)等について  
④今後の審査会のスケジュールについて

(2) 第2回審査会

- 日時 平成26年11月28日(金)
- 場所 枚方市上下水道局 庁舎 3階 応接室
- 案件 ①プロポーザル実施要領(案)等の決定について  
②業務仕様書(案)の決定について  
③今後の審査会のスケジュールについて

(3) 第3回審査会

- 日時 平成27年2月19日(木)
- 場所 枚方市上下水道局 庁舎 3階 応接室
- 案件 ①設計事業者選定に係る公募型プロポーザル第1次審査  
②今後の審査会のスケジュールについて

(4) 第4回審査会

- 日時 平成27年4月17日(金)
- 場所 中宮浄水場 高度浄水施設(プレゼンテーション及びヒアリング)  
枚方市上下水道局 庁舎 3階 応接室(第2次審査)
- 案件 ①設計事業者選定に係る公募型プロポーザル第2次審査  
・プレゼンテーション及びヒアリング  
(提案書番号1→2→3→4の順で実施)  
・第2次審査

#### 5. 審査概要

本プロポーザルは、審査過程において提案内容を中立・公正に審査するため、応募者からの提出書類は応募者が分からないように応募者名を伏せた書類により審査を行いました。

### (1) 第1次審査の経過

参加資格を有する4者から提出のあった第1次審査提出書類をプロポーザル業者選定基準に基づき審査を行いました。

企業の概要及び財務状況については、企業の規模、社員数、直近2カ年の経営状況等について評価しました。

企業の受託実績については、事務局で予め数値化したものを定量的に評価しました。

業務遂行体制については、各主任技術者の有資格や実績を定量的に評価し、本業務での遂行体制を定性的に評価しました。

第1次審査では、約3年半という長い業務期間を継続的に行い得る経営基盤があるか、また、高い技能を有している技術者を本業務に従事させることができるのか、その業務体制から本業務への意欲の高さを確認することを目的としていました。

第1次審査の結果、第2次審査において4者すべてから技術提案書の提出を求めることを決定しました。

### (2) 第2次審査の経過

技術提案書提出者に選定した4者の技術提案書をプロポーザル業者選定基準に基づき審査を行いました。

第2次審査は、技術提案書に基づくプレゼンテーション及びヒアリングを一般公開の場で行い、その後、非公開で提案者ごとに審査を行った後、全委員の評価点の平均値に予め事務局で点数化した提案価格の評価点を合計し、評価点が最も高い提案者を最優秀提案者に選定しました。

## 6. 審査講評

### (1) 全体講評

本プロポーザルは、中宮浄水場の更新にあたり、現状の水処理上での課題を解決し安全で安心な水道水を安定して供給できる浄水場を実現するため、近年開発されている新たな技術をはじめ高度な知識と技術力を持ち、枚方市のパートナーとしてふさわしい設計者を選定することを目的としています。

その趣旨を踏まえ、本審査会では、中宮浄水場の現状を理解し、如何に課題を解決するのか等の提案を通して、枚方市とともに中宮浄水場の更新に向けて歩調を合わせ、業務を遂行していくことができる最も優れた事業者を選定することを心がけました。

第1次審査では、企業の経営状況の健全性、企業の受託実績、配置人員の能力や経験、本業務における業務体制について審査した結果、すべての応募者は、経営状況が健全であり、配置技術者の能力も高く、業務遂行体制から本業務への意欲がうかがえることから、本業務の契約相手として十分であると判断し、すべての応募者を技術提案書提出者に選定しました。

第2次審査では、委員がそれぞれの専門の立場を中心に各提案の利点、問題点、浄水場を更新する上での考え方等を通して、提案者の力量を審査しました。各提案者は、短い提案期間にもかかわらず、創意工夫に富んだすばらしい技術提案をしていただきましたが、枚方市が目指している浄水場の方向性を踏まえて厳正に審査した結果、提案書番号1の提案者を最優秀提案者に選定しました。

## (2) 個別講評（順位ごとに記載）

### <提案書番号1> 最優秀提案者：(株)日水コン大阪支所

最優秀提案者の技術提案は、現状の課題の把握が中宮浄水場だけでなく、関連施設を含め詳細に把握した上で、その課題を解決していくプロセスにおいて、実証実験や官民連携手法をいかに活用するかが詳細に提案されており、その提案の具体的で現実性のある内容に対して高い評価が得られました。

特に、将来の浄水施設更新方針では、第1、第2浄水場の更新規模の考え方や更新の途中段階で更新施設と既存施設の負荷を分担する運用方法にも配慮した提案は、他の提案には見られない具体的で優れた提案内容でした。

また、浄水処理実証実験では、実験結果を膜処理の適用の可否だけでなく、それらの配慮要素の決定に反映できるような実験施設の構成としているほか、実験の対象とする膜型式の選定や膜ろ過水の排水処理系統への影響検討、水質試験項目の追加なども含め、発注者と協議の上、すべて提案価格内で実施することとしており、高い評価が得られました。

全体的に提案内容が詳細で、かつ、具体的に記述されており、浄水処理だけでなく、コスト面や将来の技術継承に至るまで幅広く提案され、その提案内容からは、枚方市が目指す中宮浄水場の方向性を最もよく理解し、それを実現し得る熱意と技術力を十分に持ち合わせていると判断したことから、最優秀提案者に選定しました。

### <提案書番号3>

提案書番号3の技術提案は、中宮浄水場の課題を詳細に把握し、その解決に向けたプロセスが明確で、中でも、メンテナンス時の浄水処理上のリスクや企業団受水費を減らすための第1浄水場と第2浄水場の浄水処理容量の統一化や、段階整備における既存施設の再利用などの提案が高い評価を得ました。

また、浄水処理実証実験では、淀川を原水とする課題も把握できており、膜ろ過とする場合のマンガン処理の課題にも対処するなど、膜ろ過だけでは処理しきれない水質項目にも着眼した点などは、高い技術力が感じられ、優れた提案内容であると判断しました。

しかしながら、最優秀提案者の技術提案と比べると具体性を欠き、最優秀提案者の

技術提案の方が枚方市にとって優位なものであると判断したため、最優秀提案者に選定しませんでした。

#### <提案書番号4>

提案書番号4の技術提案は、浄水処理実証実験において、高度浄水施設の課題である粒状活性炭の流出について、後ろ過実験を行うことを提案されており、また、浄水処理方式の決定にあたっては、階層化意思決定法を活用することで、選定プロセスを可能な限り可視化する提案などが高い評価を得ました。

しかしながら、淀川の原水を対象とした浄水処理実証実験において、実証実験の実施方法が明確でなく、ヒアリングにおいてもその疑問が払拭することができなかったことなどから、最優秀提案者との判断に至りませんでした。

#### <提案書番号2>

提案書番号2の技術提案は、中宮浄水場のダウンサイジングによるコンパクト化やアセットマネジメントの活用により、更新を効率的に進めていく上で有利な提案がされていましたが、全体的に技術提案書が詳細に記載されていないため、提案内容に具体性が欠け、一般的な記述が多くみられたことから、最優秀提案者との判断に至りませんでした。